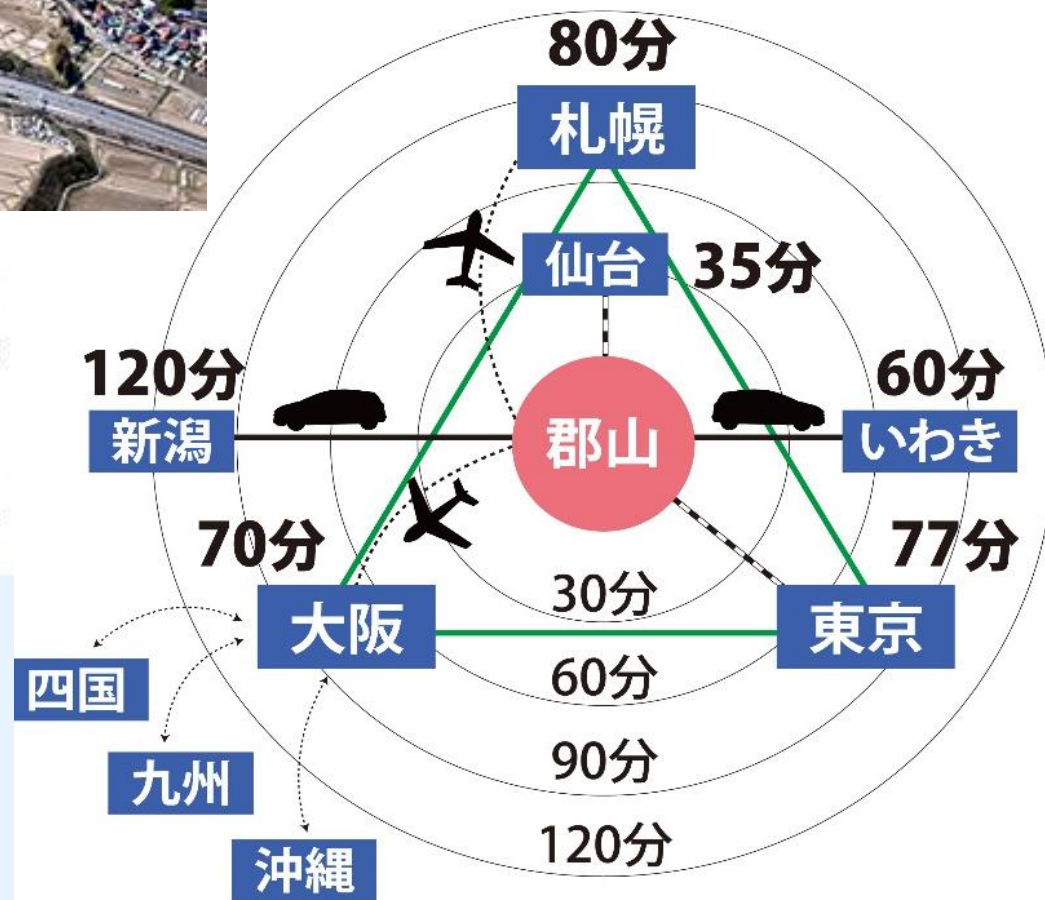
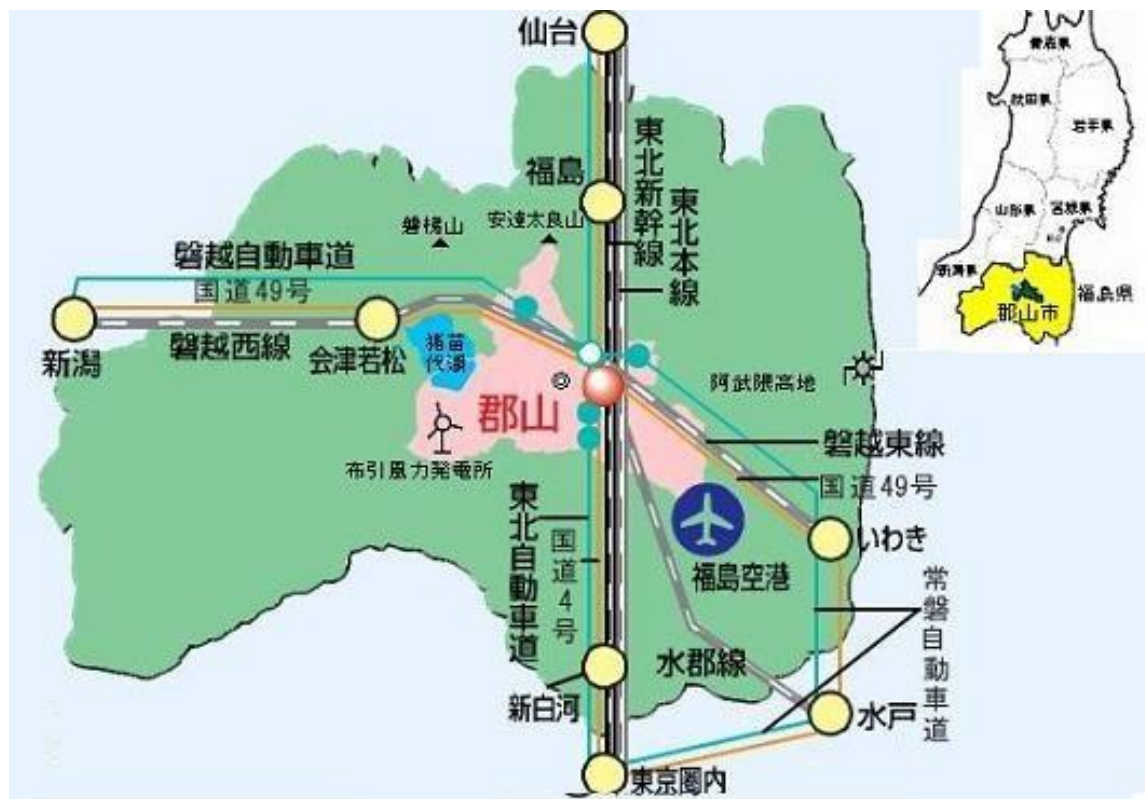


～全ての市民が共に生きる地域社会を目指して～

平成27年3月20日 郡山市手話言語条例 制定





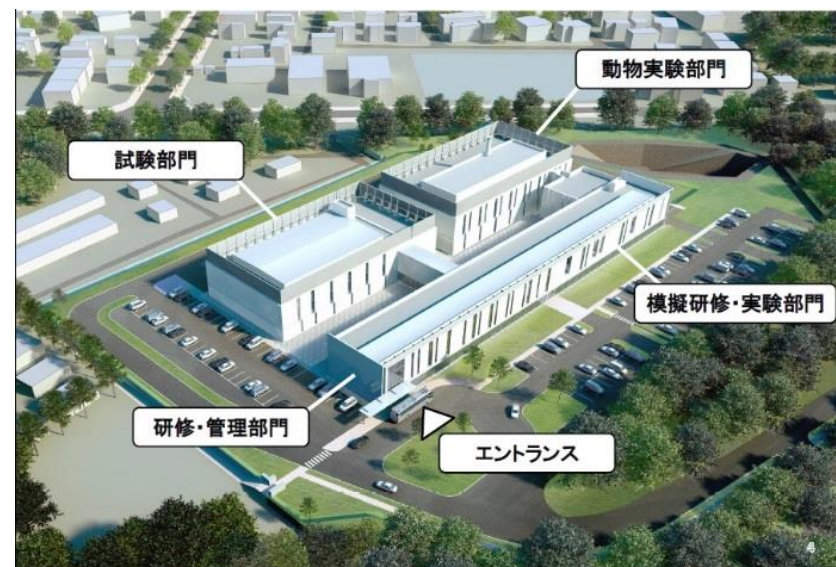
安積疏水の源 母なる湖「猪苗代湖」



～いつでもどこでも音楽とともに～ 音楽都市宣言(2008年)



国立研究開発法人産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所

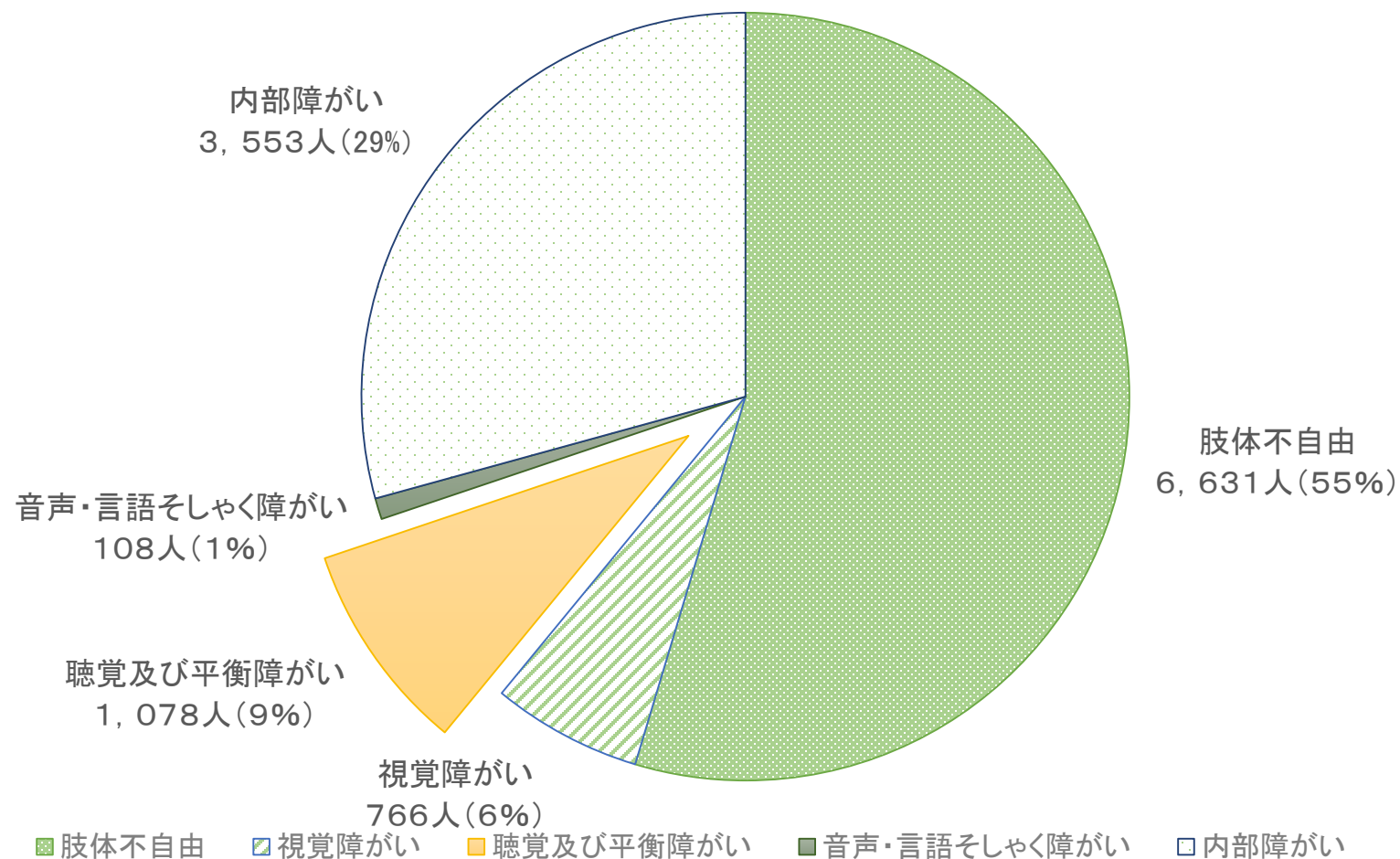


福島医療機器開発支援センター
(平成28年度開所)

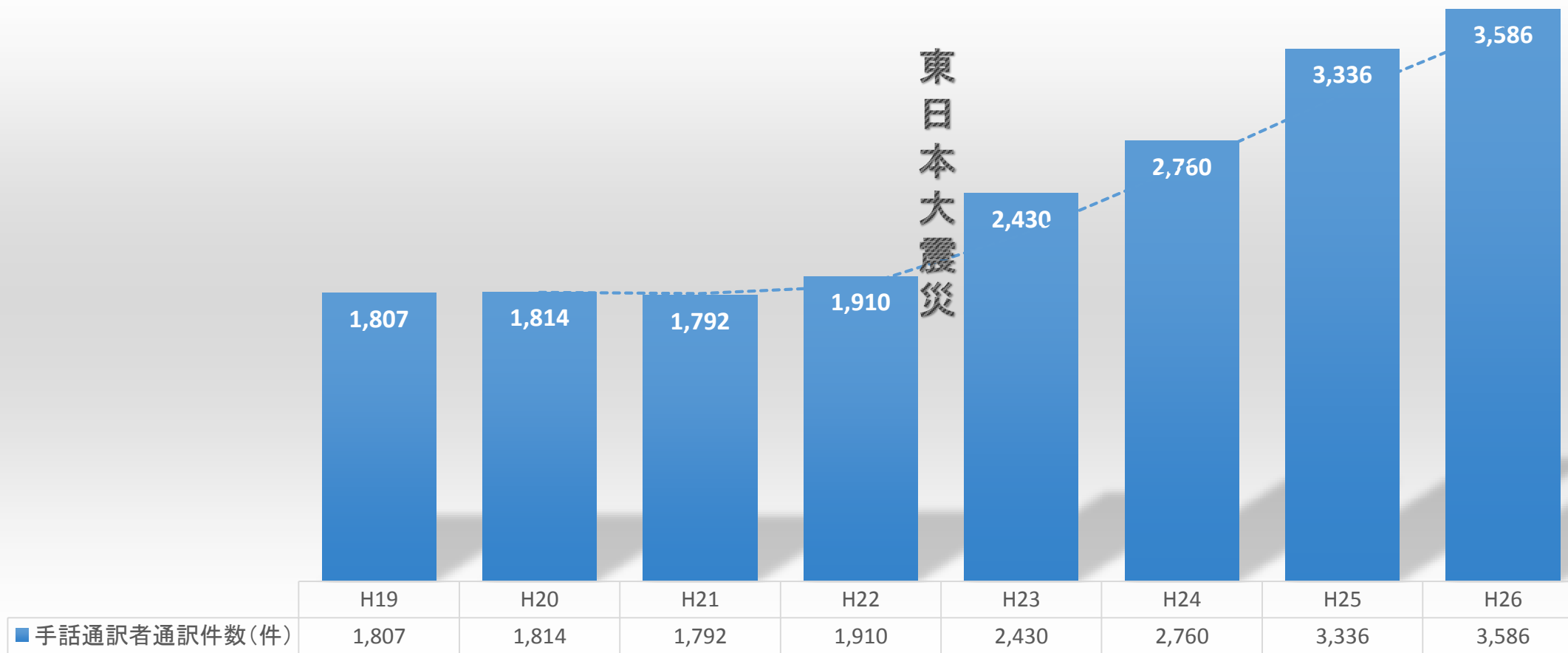
～優れた「知」の産業集積～

郡山市の障がい者数内訳

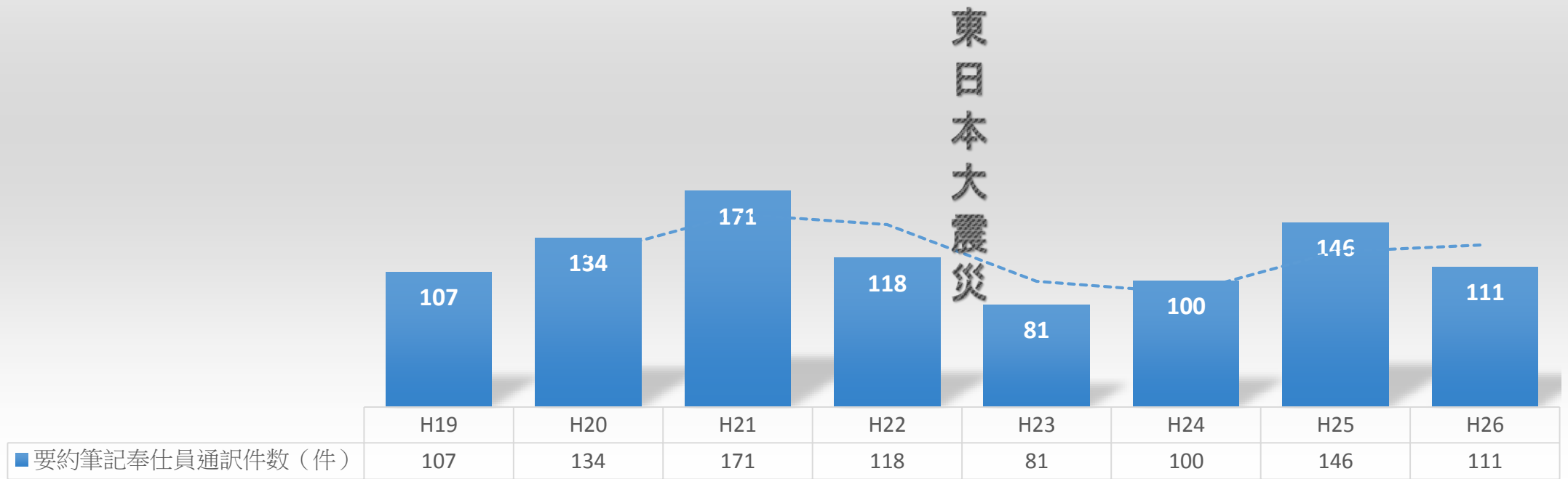
郡山市の障がい者数 12,136人（平成27年3月31日現在）



郡山市手話通訳者の通訳件数の推移



要約筆記奉仕員の通訳件数の推移



郡山市手話条例検討会 委員

(役職等は検討会設置時・敬称略)

	氏 名	所 属 団 体 (役職等)
1	大杉 豊	一般財団法人全日本ろうあ連盟(国立大学法人筑波技術大学准教授)
2	小林 靖	一般社団法人福島県聴覚障害者協会(事務局長)
3	鶴岡 美果	医師(一般社団法人郡山医師会・耳鼻咽喉科)
4	佐久間 孝	NPO法人郡山市聴力障害者協会(理事長)
5	佐藤 邦子	地域生活支援センターけやき(利用者)
6	清水久美子	福島県手話通訳問題研究会(会長)
7	村山 明美	手話サークル「こおりやま」(会長)
8	井戸川 恵理子	福島県立聾学校(校長)
9	佐川 潮	郡山市小学校長会(郡山市立高瀬小学校長)
10	鈴木 英一郎	福島県中小企業家同友会郡山地区(ユニバーサル委員長)
11	松川 修三	福島中央テレビ(報道制作局報道部長)
12	今泉 毅	福島放送(アナウンサー)

手話言語条例制定までの日程

平成26年8月

平成27年3月

検討会

全4回

第1回 H26. 8. 6

第2回 H26. 9. 16

第3回 H26. 10. 7

第4回 H26. 12. 25

パブリック
コメント

3週間

H26. 11. 26

↓

H26. 12. 16

条例
制定

平成27年

3月20日

施行

平成27年4月1日

郡山市手話言語条例の**特徴ある施策**



第12条
災害時の
対応



第13条
情報通信
技術(ICT)
の活用

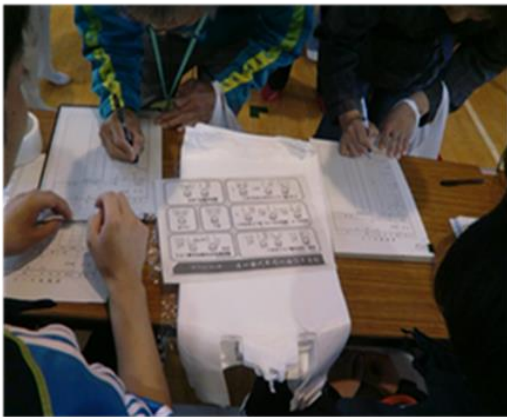


第14条
その他の
意思疎通
支援の推進

第12条 災害時の対応

・市は、災害時において、手話を必要とする人に対し、情報の取得及び意思疎通の支援に必要な措置を講ずるものとする。

郡山市総合防災訓練時の様子



受付でコミュニケーション
ボード使用



通訳者用ビブス着用



文字による情報提供

第13条 情報通信技術(ICT)の活用

- ・市は、この条例に定める諸施策に関し、情報通信の技術を活用するよう努めるものとする。



「ライブネットこおりやま」の活用

- ・行政センターと市役所の窓口を映像で繋ぐ
- ・民間提供のコミュニケーション支援アプリなどを活用することの出来る環境づくり

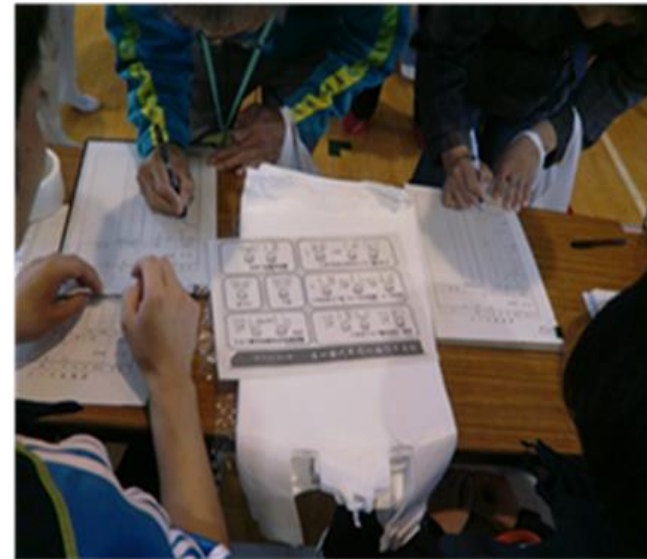


第15条 その他の意思疎通支援の推進

- 市は、聴覚障害の特性に応じ、手話のほか要約筆記の活用等、意思疎通の支援に必要な措置を講ずるよう努めるものとする。



要約筆記者の活動の様子



コミュニケーションボードの使用

広がるコミュニケーションの輪



小学校での手話講座



医療機関での手話講座



市職員の手話研修



地域公民館での出前講座

共催事業の実施(第10回手話まつり)

日時:平成27年11月3日(火・祝)
場所:郡山市中央公民館



ミニ手話講座



NHKによる取材
(こども手話ウィークリー)

主催:NPO法人郡山市聴力障害者協会
手話サークル「こおりやま」
福島県手話通訳問題研究会(郡山班)
共催:郡山市



震災後再建された中央公民館を会場に実施



手話による折り紙教室

今後の展望



ICT for All

(esp. women, small medium company
& disability)

